

テーマ

# 幼稚園・小学校の子どもを中心にした つながり合える連携の在り方

港南台第三地区

かもめ幼稚園

横浜市立港南台第三小学校

# テーマ設定の理由

小学校入学前のアプローチカリキュラムと入学後のスタートカリキュラムとがつながるためには、それぞれの教育機関がどのような教育を行い、どのようなことを大切にして子どもたちの育ちを支援しているのかを把握する必要があります。そのために、まずは、幼稚園と小学校の職員がお互いを知り、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを充実させていくことが大切だと考えました。



## 推進内容

- ①幼稚園の職員と小学校の職員の顔の見える関係づくり
- ②計画的な職員同士の相互訪問と相互理解
- ③職員同士のつながりを基につくる子どもの交流活動の積み重ね

今年度の重点課題  
～今年度力を入れたこと～

○幼稚園の職員と小学校の職員の関係づくり

○幼稚園と小学校の教育の相互理解

○お互いを知り、子どもがつくる交流活動の積み重ね



# 連携推進事業の実際

## かもめ幼稚園

### こんな子どもに育ってほしい

- 身近な自然の不思議さや美しさに気付く子ども
- 小さな生命に目を向け、その大切さが分かる子ども
- 他の人の気持ちが分かる思いやりのある子ども
- 友だちと共に意欲的に活動できる子ども
- 自分の気持ちや考えを、身近な素材で率直に表現できる子ども



## 四ツ切公園



## 港南台第三小学校

### 学校教育目標

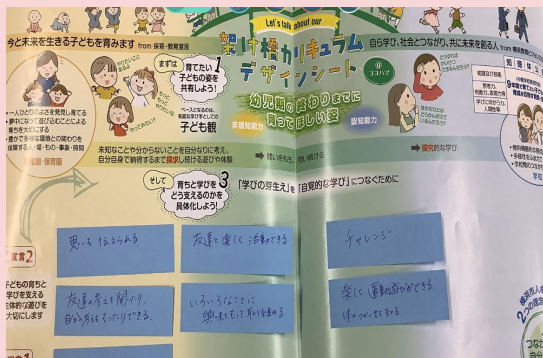
夢・夢中・ともに輝く 心豊かな子

自分らしさを発揮し、友だち、まち、自然と関わることを大切にします。



# 令和6年度 年間計画

## 架け橋カリキュラム デザインシートの活用



育てたい姿の共有

事業名	日時	内容
第1回推進委員会	4月下旬	・年間計画について ・テーマ「幼稚園・小学校の子どもを中心にしたつながり合える連携のあり方」検討
幼稚園参観	4月30日(火)	・学校の職員が幼稚園の園児の様子を参観
授業参観	5月2日(木)	・園の職員が学校の様子を参観
授業参観	5月15日(水)	・園の職員が1年生の授業参観
小学校スポーツフェスタ	5月25日(土)	・園の職員がスポーツフェスタ見学
交流会①	5月下旬	・幼稚園の年長児と1年生との四ツ切公園での交流
第2回推進委員会	5月下旬	・交流の振り返り ・予算について
幼保小連携研修会	7月26日(金)	・教育連携研修会に参加
交流会②	7月・8月	・園の年長児が小学校で1年生体験
幼稚園参観	7・8月	・学校の職員が幼稚園の園児の様子を参観
幼稚園運動会	10月5日(土)	・学校の職員が幼稚園の運動会を見学
交流会③	10月	・幼稚園の年長児が1年生と交流 (国語：くじらぐもの音読劇発表、生活科：学校探検)
交流会④	11月	・幼稚園の年長児が1年生と交流 (生活科：あきのおみせやさんであそぼう)
交流会⑤	12月	・幼稚園の年長児が1年生と手紙で交流 (国語：てがみでしらせよう)
区教育交流事業報告会	2月上旬	・区教育交流事業報告会で報告
交流会⑥	2月	・幼稚園の年長児が1年生と交流 (国語：たぬきの糸車の続きのお話を考えて年長さんに音読しよう) ・保育園3園との5年生の交流
第3回推進委員会	2月	・年間振り返り ・次年度計画



## 出合いの工夫

初めての交流は、かもめ幼稚園と小学校の間にある四ツ切公園で行うことにしました。年長担任からの「幼稚園に年長さんを迎えに来てください。」というミッションを聞いて、さらにはりきる1年生。幼稚園へ着くと、もう年長さんが並んで待っていてくれました。挨拶の後、1年間ペアで交流する年長児を決定し、手をつないで公園へ行きました。

初めはお互いに恥ずかしがっている様子もありましたが、遊びを通してすっかりなかよしくなっていました。





## 持続可能な交流の工夫

カリキュラムに位置付けることで、幼保小の担当が代わっても継続して交流を行っていくことができました。

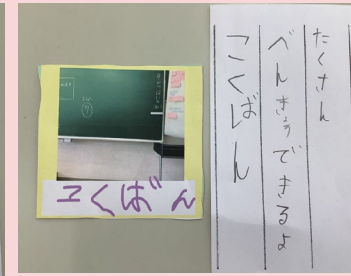
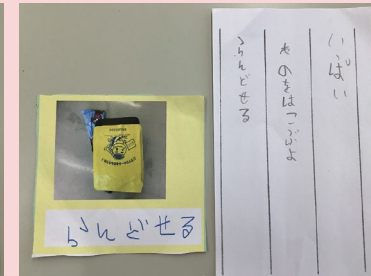
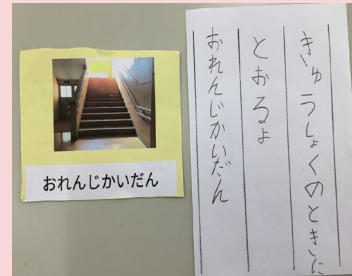
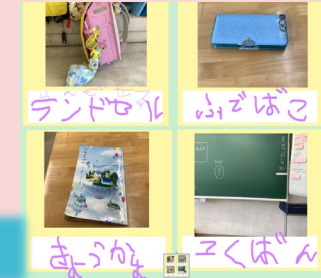
例えば、国語の「くじらぐも」の学習では、指導事項を工、言語活動を音読劇とし、相手意識を年長児にして「オリジナルのくじらぐものおんどくげきを年ちょうさんにはっぴょうしよう」とすることで学習したことを生かして交流をすることができました。

また、生活科の「学校探検」では、学校探検で見つけたことを学校カルタをつくって、年長児にプレゼントしました。「あきとともだち」では、「年長さんもたのしめるあきのおみせをひらいてたのしもう」とすることで、ルールや説明の仕方、表示なども自分たちで考えて工夫していました。

身に付けたい資質・能力をしっかりと確認することで、学校探検で終わる交流ではなく、年間を通した交流をすることができました。



### 学校カルタづくり



### あきとともだち



### くじらぐもの音読劇の発表

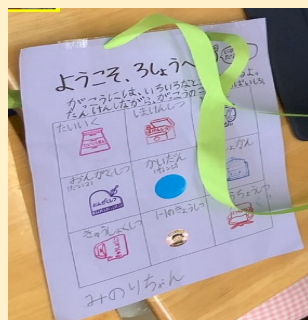




## 学校探検の工夫1

- ☆学校のキャラクターの活用
- ☆個人のスタンプラリーの作成

学校のキャラクターの「にじピヨ」を活用し、学校探検を行いました。1年生が考えたポイントに、にじピヨのマークを貼っておきました。マークがあることで、年長児もマークを探しながら楽しそうに学校の中を探検していました。また、全員同じスタンプラリーの紙でなく、自分が年長児に教えてあげたい場所が書いてあるものを使用することで、さらに意欲的に活動することができました。





## 学校探検の工夫2 ☆タブレットの活用

タブレットの扱いに慣れて、写真を撮ったり、文字を書いたり、入力したりできる頃に行った学校探検では、タブレットを活用しました。事前にロイロノートのテキストに、年長児と学校探検をしたい場所を書いたり、入力したりしておきます。

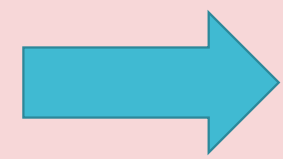
学校探検では、タブレットをもって教えてあげたいと書いた場所に行き、年長児とそこで一緒に写真を撮ったり説明したりという活動を行いました。学校探検後には、子どもたちがスクリーンショットで画像を提出し、それを担任が印刷して幼稚園へ届けました。

交流する時期によって、タブレットも活用でき、年長児もどのように学校で使っているのか知ることができました。



がっこうビツゴカード

ほけんしつ	りかしつ	だいいち おんがくしつ
としよかん	1ねん2くみ きょうしつ	しょくいんしつ
だいに おんがくしつ	きゅうしょくしつ	ずこうしつ



がっこうビツゴカード



## 入学が楽しみになる工夫 ☆花の球根の活用

1年生は、スタートカリキュラムのときに、あさがお・ひまわり・マリーゴールドから自分が好きな花を選んで種まきをし、花を育てるといった活動を行いました。

10月には、近くの花屋に行き、自分が育てたい球根を自分でお金を払って買い物をし、自分の植木鉢に植え付けました。その経験を生かし、学年園に1年生も年長児も一人1個ずつチューリップの球根を植え付けました。1年生が球根を植え付けたときのことを思い出して穴を掘り、年長児が球根の向きに気を付けて入れて植え付けました。その後は、水やりの仕方にも優しく教えていました。「大きくなあれ、って言いながらやると本当に大きくなるよ。」と1年生が言うと、年長児も真似して優しく言っていました。「早く、1年生になりたい。」「早く、咲かないかな。」と、さらに入学が楽しみになったようです。





## にこにこタイムの工夫

港南台第三小学校では、「なかよしタイム」「わくわくタイム」「ぐんぐんタイム」の他に、朝の支度が終わった子から、自由遊びができる「にこにこタイム」を今年度より設けています。

にこにこタイムでは、絵本コーナーで自分が好きな本を読んだり、友達とおしゃべりしたり、おもちゃで遊んだりなど、自分がやりたいことをして過ごします。

今年度は、かもめ幼稚園の年長担任と相談し、カプラを購入しました。カプラが小学校にもあることで、「朝、幼稚園でもカプラで遊んできたよ。」「小学校にもカプラあるんだ。」など、話題にもなっていました。また、幼稚園にない遊び道具が小学校にあることで、「小学校に入ったら遊べるの。早く小学生になりたいな。」など、楽しみにしている子もいました。

